

令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区船堀第二保育園

テーマ「いろ」

(ぼくのいろ・わたしのいろ いろいろたんけんたい)



私たちの身近にある「いろ」

子どもたちはどのように「いろ」と関わり、どのような「不思議」「気づき」を見つけるのでしょうか？



3 歳児

色水遊び



最初は単色の混ぜ合わせを沢山楽しんできた中で、「沢山の色を混ぜると虹色になるかな？」という子どもたちの疑問からレインボー水(混ざらない色水)を作ってみることにしました。

★材料：水、絵の具、塩

★作り方：色ごとに塩の量を変え、濃い順(底)から薄い順(上)へ静かに重ねる

【保育士の感想】子どもたちの声を聴いて実際に作って見たのですが、塩の加減は難しかったです。今後も子どもたちの声を聴きながらチャレンジしていきたいです。

5 歳児

カラーセロファン

ガラクタ制作でトイレットペーパーの芯をのぞき込んで楽しんでいる姿がありました。そこでカラーセロハンやポイを用意してみると、トイレットペーパーの芯にセロハンを貼ってのぞいてみたりして遊びが発展！カラーセロハンを重ねて色の変化を楽しんだり、光に反射させたり、同色を重ねることで色が消える発見をして楽しんでいました。

★材料：カラーセロハン、ポイ、トイレットペーパーの芯



～すくわく体験デイ 親子で楽しもう～ 「いろのエリアを回ってみよう」

*巧技台*はしご*吊り橋*トンネルなどを色ごとに分け、親子で楽しめるコーナーを作りました。コーナーをクリアするごとに色シールを貼って達成感を持てるようにしました。光のテーブルコーナーでは、セロハンや折り紙を使い、色の重なりや不思議を発見して楽しみました。

【保護者からの感想】

・「ママ、紫になった！オレンジかな？と色々試していました」「大人もドキドキするようなはしごや吊り橋もアグレッシブに挑んでいて驚きました。色分けしている分、楽しそうに見えました」など、沢山の感想をいただきました。



「同じ色でも人によって感じ方、見え方が違うよね」そんな言葉から「子どもたち一人一人の見え方、感じ方を大切にしたい」という保育士の願いが生まれました。

そこで船堀第二保育園では『**ぼくのいろ・わたしのいろ・いろいろたんけんたい**』というテーマ名を考え、子どもたちの色への興味や発見が広がるような活動を考えてきました。

「いろ」をテーマに、各クラスの年齢に応じて遊びを楽しんできました。子どもたちの様子や発見に保育士が気づき、遊びが広がるきっかけを作り、素材を用意することでさらに遊びが楽しくなっていました。子どもの声を拾い、「遊びを発展させるためにはどうしたらいいだろうと」保育士が真剣になって調べたり、考えたりすることもありました。

見守る姿勢を大切にすることで、子どもたちが自分たちで遊びを広げて楽しむ場面が多く見られました。活動の中での子どもたちの生き生きとした表情から大人が遊びを提案するのではなく、子どもたちの発見や気づき、子どもたちの声に耳を傾けることが大切なのだと改めて感じました。

テーマの「いろ」を意識して遊びに取り入れたことで、普段何気なく楽しんでいる遊びが、子どもたちにとって新たな発見や気づきとなり、自ら遊びを展開する姿をみて子どもの秘めた想像力に感心し、大人も柔軟な発想が必要だと感じました。

「ぼくのいろ・わたしのいろ いろいろたんけんたい」の今回のテーマを次年度に繋げられるよう、職員一同協力しながら進めていきます！！